

キーワード

基礎的な知識・技能の習得

標 題

1. 学ぶ意義や楽しさを実感できる授業づくり
2. 学びあう環境づくり
3. 個別に寄り添う指導の充実
4. 協同学習・ピアサポート活動

①学校の概要（平成25年7月22日現在）

・生徒数 47名      ・学級数 4学級      ・教職員数 12名

②取組を始めた経緯

苦手意識のある教科については、授業内容が理解できておらず、十分な定着が図られていない生徒が少なくない。

③取組の実施体制

・研究主任を中心とした全校体制  
・家庭との連携（保護者の協力：「学びのススメ」）

④学力向上に向けた具体的な取組

- ・年間を通じた朝学習
- ・国・社・数・英・理の重点学習
- ・確認テストの実施とファイルの活用
- ・定期的な読書活動
- ・学習の手引きの活用(全教科)
- ・実践の記録手帳、QAノートの活用
- ・個別に寄り添う指導の充実(質問の時間)
- ・グループやペアによる相互援助活動
- ・NIEの活用
- ・各学年の宿題(各教科)掲示による家庭学習支援

## ⑤取組の成果と課題

○協同学習により、以前よりは生徒が発言する機会が増えた。しかし、生徒の語彙力はまだ十分とは言えず、一層表現力の向上を図る必要がある。  
○実践の記録手帳(レコーディング)を活用して、自分の生活を振り返りながら短期的な目標を立てたり、やるべき事のリストを作成して見通しを立てたりすることができる生徒が増えてきた。

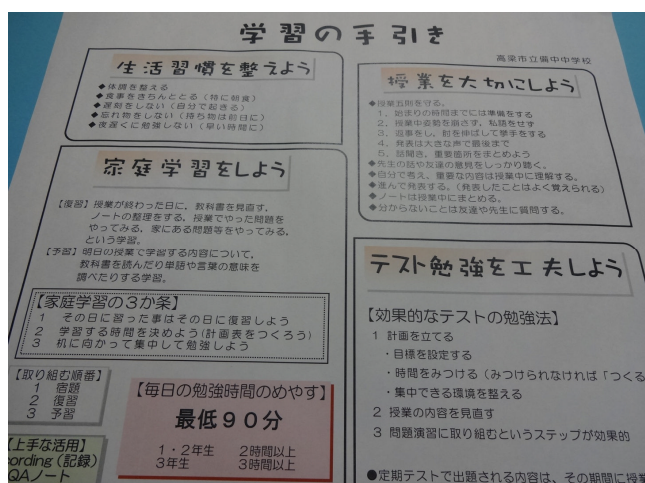
## ⑥取組の継続・発展の要因

- ・基礎学力の定着及び進路保証
- ・「学びの意義」についての理解(生涯学習)

## ⑦管理職・中核教員等のアクション

○小・中・高で連携をとり、授業規律や家庭での学習習慣の確立を図る。  
○キャリア教育を推進する。(卒業生に学ぶ会、出前講座など)  
○教育センター等での授業改善の研修及び教員研修に係る情報を提供する。  
○年間を通しての研究授業を推進する。

## ⑧資料・写真等



学習の手引き



朝学習の様子